

2016年2月12日  
学校法人成城学園

## 成城学園創立100周年記念 燃料電池自動車「MIRAI」を学園公用車に導入

学校法人成城学園(東京都世田谷区 理事長:渡 文明)は、2017年創立100周年を迎えるにあたり、成城学園創立100周年記念プロジェクトの一環として、トヨタ自動車製燃料電池自動車「MIRAI」を学園公用車として導入いたしました。

今回導入する燃料電池自動車「MIRAI」は、水素を燃料にしています。“水素”は、利用方法次第では高いエネルギー効率、低い環境負荷、非常時対応等の効果が期待され、将来の二次エネルギーの中心的役割を担うことが期待されています。

豊かな自然環境は本学の特徴の一つです。本学は、建学の精神の中で「自然と親しむ教育」を標榜しており、現在も中学における「海の学校」「山の学校」を代表例として自然に親しむ教育を実践しています。また、現在「100年の森計画」として、中高一貫新校舎建設のため、どうしても伐採せざるを得ない学園内の樹木の種子を拾って育て、苗木になったら施設設備計画で空いたスペースに植林してDNAを残すという取組を行っています。

我々の教育に欠くことのできない自然環境を、よりよい形で将来の子どもたちのために残していきたいという思いから「MIRAI」の導入を決定いたしました。また、正門前に展示するなど、学生、生徒、児童、園児が最先端技術に触れる機会となることも期待しています。



2017年創立100周年を迎えるにあたり、本学は、『成城学園はいつの時代にも「質の高い教育」を実践し未来を切り拓いていける人を育てます。』という第2世紀ビジョンを掲げています。また、このビジョン達成のために「未来募金」という名称で募金活動を行っております。

第2世紀ビジョン、募金活動名ともに「未来」をキーワードにしており、同じ思いを共有している燃料電池自動車「MIRAI」を学園公用車にできたことを、学園としてうれしくおもっています。